

輝くひと

第7回

日本の伝統の美を吟じ舞う

茨城県高等学校文化連盟吟詠剣詩舞部の皆さん



漢詩や和歌を吟じる「詩吟」と、その吟にあわせて剣や扇を手に舞う「剣詩舞」が融合した、吟詠剣詩舞。

この日本古来の伝統芸能に挑戦し、8月に富山県で開催された、全国高等学校総合文化祭の吟詠剣詩舞部門に、本県勢として初めて出場したのが、茨城県高等学校文化連盟吟詠剣詩舞部の皆さんです。

現在、県内には、吟詠剣詩舞を部活動として行っている高校がないことから、小学生の時に国民文化祭で詩吟を行った宇留野朱璃さん(水戸女子高等学校1年)、水戸市立第三中学校時代に体育祭などで詩舞を披露した経験がある、磯野怜奈さん・菊地春菜さん・武田まゆ子さん・中村亜美さん・本田愛さん(水戸第二高等学校1年)、井坂琴美さん・澤田香沙美さん(水戸第三高等学校1年)ら8名の高校生たちが集まり、日々練習を重ねています。

練習は、今年の5月から始まったばかりですが、それぞれ中学生時代に吟詠剣詩舞の経験があったので、先生方の指導により、すぐに舞の動きなどが洗

練されてきました。

取材日当日の舞の練習は、総合文化祭直前ということもあって、本番用の衣装に着替えての練習となりました。「衣装を着て練習すると、気持ちが入る」という菊地春菜さん。普段は舞の振付けのほかにも、目線や表情を意識しながら舞うことを心がけています。また、澤田香沙美さんは「これからも同じメンバーで吟詠剣詩舞を続けていきたい。皆で心を一つにして舞うことが目標」と言います。

今、演題として取組んでいるのは、水戸藩第九代藩主徳川斉昭が詠んだ「弘道館に梅花を賞す」と水戸藩内の8つの景勝地を詠んだ「水戸八景」。指導を担当する、水府流吟道会の宇留野敏明総師範は「意欲をもって続けてもらえるように、新たな課題曲にも取組んでいくほか、書道吟とも共演していきたい」と話します。2年後に県内で開催される、全国高等学校総合文化祭への出場を視野に入れている皆さん。今後も気持ちを一つにして、練習に励みます。

ようこそ! 図書館へ 3

東部図書館

東部図書館は、平成元年(1989)、市制施行100周年の年に開館した、水戸市で2番目の市立図書館です。

東部図書館は、園芸センターの跡地に作られた東部文化公園の中に建てられ、南ヨーロッパをイメージしたやさしい色合いで、周囲の風景に溶け込んでいます。木々の緑が眺められ、時折小鳥の鳴き声が聞こえてくる、のどかな公園の一角ということもあって、東部図書館は、小さな子どもから高齢者まで、多くの方々に親しまれています。

また、東部図書館では、多くのボランティアの皆さんが活動しています。おはなし会や工作教室、映画会など各種の行事や、傷んだ本の修理、返却本の配架など、さまざまな業務を手伝ってくださる心強い存在です。

6館ある水戸市立図書館の蔵書は、いずれの図書館でも貸出、返却できます。近くまで来たときは、東部図書館へどうぞおいでください。



休館日のお知らせ

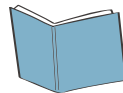
蔵書点検などの図書整理のため、休館します。休館中の図書の返却は、返却ポストまたは開館している館へお願いします。

東部図書館

10月1日(月)~11日(木)

見和図書館

10月9日(火)~
19日(金)



問合せ

中央図書館(大町3-3-20)、☎226-3951
東部図書館(元吉田町1973-27)、☎248-4051
西部図書館(堀町2311-1)、☎255-5651
見和図書館(見和2-500-2)、☎350-2051
常澄図書館(大串町2134)、☎269-1751
内原図書館(内原町1497-16)、☎291-6451
ホームページ <http://www.library-mito.jp>